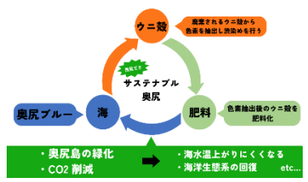
地域マリンビジョン目標の達成に向けた取り組み（奥尻地域）

●ブルーカーボンクレジットの認証・発行（継続事業）

（1）地域マリンビジョンにおける取組内容（Plan）			関連資料
地域 MV における取組の位置付け	**【地域の将来像】** **産・学・官・民の協働で行う漁村地域の活性化** 継続事業：ブルーカーボンクレジットの認証・発行（サスティナブルアイランド奥尻） **【主な取組】** 短期：海藻養殖計画の策定、生産体制づくり 中期：対象範囲の拡大・クレジット購入促進 長期：クレジット発行による新たな取組の検討、環境ブランド化への取組	取組場所 	【取組の様子】
取組内容に関連する実施の現状と課題	現状 取組内容から「農林水産大臣賞」の受賞 対象海藻の養殖施設の拡大、クレジット量の増加 課題 ブルーカーボンクレジットの拡大と発行やブルーカーボンの取組による地元水産物のブランド化		
取組による効果（数値目標）	ホソメコンブ養殖施設を８㎞へ増設、脱炭素量 2.0・クレジット金額 1,100 千円を目標とし、環境ブランド化を図る。		
（2）取組内容・実施体制（Do）			
取組内容、方法、手順、実施体制	ブルーカーボンクレジットの認証・発行 奥尻町と ENEOS（株）との「ブルーカーボンを活用した脱炭素社会の実現」に向けた連携協定の締結 協議会（漁業者）と北海道エアシステム（HAC）がブルーカーボン意見交換を実施 北海道奥尻高等学校による大阪・関西万博での発表（海洋学習） 金融公庫主催の高校生ビジネスプラン・グランプリに２件応募、ベスト１００に選定		
（3）効果項目に対する評価（Check）			
数値目標の達成度評価	気候変動による温暖化の影響の抑制を目指し、地域でのブルーカーボンの取組の認知・拡大、商品のブランド化が図られ、持続可能な実施体制が構築された。		
反省点	特になし		
（4）取組の改善措置（Action）			
取組内容の改善点	次世代の高校生が奥尻地域マリンビジョンの実施に継続的に協働・参画できるように学校との調整を進める。		
取組の実施に必要なもの	地域向けのブルーカーボン講演の開催 子供たちの海洋学習の場を創設・フォローできる人材の育成